

NICIA

NIKKO CITY INTERNATIONAL ASSOCIATION



日光市国際交流協会 中高生企画イベント
Junior and senior high school student-planned event

ラピッド市市民訪問団派遣事業

Citizen Exchange Program to RAPID CITY

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター連携事業

日光の再発見 REDISCOVER NIKKO

3 MARCH, 2019
No.25





日光市国際交流協会では、外国の方とともに行動することにより国際意識の醸成を目的に事業を実施しています。

あなたは、日光をどう思いますか？

「あなたは「日光」と聞いて、どんなイメージを持ちますか？」

住んでいる人、観光客、そして海外の方、それぞれの環境によって、それぞれ違ったイメージを持つ。

2020年にオリンピック・パラリンピックを迎え、外国の方から日光はどのように映るのだろうか？

今年度も日光市国際交流協会は宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター（CMPS）と連携し、留学生達と共に日光の各地域を歩き、お互いに新しい目線で日光を発見することを目的に参加型の事業を実施した。



1DAYS (11.11)
オリエンテーション

2DAYS (11.27)
足尾地域内フィールドワーク



「足尾の歴史を生かした観光地づくり」

今回のテーマは「足尾の歴史を生かした観光地づくり」。

足尾地域は、足尾銅山のほかに銅山の発展により電話、電気機関車、運搬の鉄索など世界初の産業技術が沢山生まれた地域。

そんな知られざる足尾について、宇都宮大学の留学生達と国際交流協会の会員の方が一緒にグループになり、オリエンテーションで学び、足尾地域内の各所においてフィールドワークを実施。



3DAYS (12.15) シンポジウム

留学生と会員の方は、歴史伝承や地域のまち歩きガイドの方、植樹活動を行っている方、観光事業者等に「足尾」について聞き取りを行い、また、植樹なども体験。

会員は留学生を通じて海外の方が足尾をどのように感じるのか、そしてどう考えるのかを学び、留学生は会員を通じて足尾を体験し、双方刺激のある事業となった。

最後に、留学生達が足尾を体験し、感じたこと、そして新たな「足尾の歴史を生かした観光地づくり」に向けての提案をシンポジウム形式で実施。参加者の皆さんと新たな日光を再発見した。



足尾は、日本経済にとって歴史ある場所、今回行って良かった。・・・ラハマン・シェイク

日光のまち歩きは、地元の生活が見られるので、とても楽しい。・・・周陽慧

国際交流

日光市国際交流協会

教育



宇都宮大学多文化公共圏センター

研究



宇都宮大学の学生・留学生



宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター共催事業
国際交流都市
日光の再発見PROJECT
2018.11.11 ~ 12.15 - 全3回 -

日光再発見参加者インタビュー - Interview - 日光、どう感じた？

日光再発見に参加した、宇都宮大学の留学生に足尾をはじめ、日光の印象について聞いてみました。

一 今回参加して見て、どうでしたか？

■ラハマンさん■ 一番良かったのは、足尾銅山という歴史的な場所に行けたこと。昔は全然知らなかった。日本の経済にとって、とても大切な場所だと分かった。

■周さん■ 最初は足尾について知らなかった。日光というと、やはり東照宮や温泉をイメージしてしまう。今回のテーマとわかり、インターネットで調べてみたが、足尾まで行くのが大変でビックリした。



ラハマン・
シェイクさん

宇都宮大学大学院
国際学研究科1年

2014年来日。この事業は3回目の参加。
好物は、刺身、寿司
趣味は、インド映画（オススメは3 Idiots（きつと、うまくいく）、PK）

一 皆様のご出身の国と日光を比べてみて、どうですか？

■周さん■ 中国にも古い建築物があります。また滝なんかも多いので、似ているところは多いかもしれない。

■ラハマンさん■ 東照宮のような古い建物はバングラディッシュにもあるが他のものは少ない。特に温泉は、バングラディッシュには無い。あと雪も降らないので、前年度に栗山に行ったときには驚いた。

一 皆様のご出身の国の方に紹介したら、日光の魅力はなんでしょう？

■周さん■ 初めて日光に行ったとき、東照宮にいったのですが、バスの乗り方が分からなくて、歩いて行きました。でも、その道中に、いろんなお店があって歩きながら地元の風景を楽しめました。

■ラハマンさん■ 足尾のように歴史あるところは、ぜひみんなに知ってほしい。ただ、やはり夜に楽しむところがないと思う。夜過ごせるところがないので、帰ってしまうのでは。ワインバーなんかがあるといいのかも。



周陽慧（しゅう
ようけい）さん

宇都宮大学
多文化公共圏セン
ター職員

2008年に初めて来日、2010年2度目の来日。この事業は2回目の参加。
好物は、エビフライやからあげ
趣味は、ゲーム（マリオなど）

■周さん■ 楽しむところも良いが、伝統文化を見せる、体験させることも大切。

あと、若い人がいっぱいいるところを見せないと海外の方は心配になる。若い人による、にぎわいを先に作る事も大切だと思う。

■ラハマンさん■ 歴史や伝統がある地域なのだから、それを楽しく学べるアクティビティがあるといい。

一 最後に日光にまた来たいと思いますか。

■ラハマンさん■ もちろん、バングラディッシュの人はたくさんいるので、足尾のように歴史あるところに、みんなを連れて行きたい。

■周さん■ 私も友達や親戚が来た時には連れて行きたい。日光東照宮に行って、湯西川で温泉に入るのもいいのかもしれない。

中高生主催 フェスティ バル



「目黒区国際交流フェスティバル &新大久保」

目黒国際交流フェスティバル



1月20日(日)、私たち中高生が考えた「目黒区国際交流フェスティバル&新大久保」に行きました。早朝に日光市役所を出発し、11時頃東京都目黒区めぐろパーシモンホールに到着しました。目黒区国際交流フェスティバルでは班別行動でした。私は、同い年の友達5人と共に参加しました。まず私たちはフェイスペイントを体験しました。私は手の甲にリンゴの絵を描いてもらいました。友達の中には国旗を描いてもらった人もいました。みんなで写真を撮ったりして楽しかったです。次に私たちはミニ日本語会話サロンに参加しました。これは、外国人と日本語で話すことができるイベントです。私はイスラエル人の男性とお話しました。彼は私たちをととても暖かく迎えてくれました。写真を見せながらイスラエルの地形や気候、食べ物の特産物を紹介してくれました。イスラエルはお肉を



食べる機会が少なく豆や野菜、果物が中心だそうです。そのため、見たことも聞いたこともないようなものがたくさんありました。本当に短い時間でしたが、外国の文化を知ることができ、とても刺激を与えてくれる時間でした。その後、いくつかの大使館をまわり、あっという間に集合時間になってしまいました。

次に新大久保に行き、まずトッポギのお店に入りました。店員さんは全員、日本語の話せる韓国人の方々だったように思えました。トッポギという料理はとても辛かったけど、美味しいから結局たくさん食べてしまいました。店員さんたちはあまり笑ったり話したりせずに、着々と業務をこなしているように見えました。そう考えると日本の接客は、他の国に比べてかなり丁寧に感じます。韓国の文化を体験し、韓国の良い点に加えて自国の良い点も発見できました。その後はチーズドッグを食べましたが、1口食べるとチーズが伸びて、私の大好きな韓国料理の1つになりました。新大久保には私たちの年代の人がたくさんいました。時間は限られていたけれど、とても楽しく韓国の食文化を学ぶことができました。

18時頃に日光市役所で解散となりました。私は日光市の国際交流協会の会員になってから、今までは体験できなかったことが体験できる機会がたくさん増えました。今回に関しては企画から自分たちでやらせていただいたこともあり、楽しみにしていました。話し合いから実行に至るまで様々な外国の方と交流することができたことは、私にとって素晴らしい経験であり、夢へ大きく前進するきっかけになりました。このような機会を与えてくださり実現してくださった関係者の方々や、両親、一緒に参加してくれた友達、バスの運転手さんなど、この企画に携わった全ての方々に感謝しています。

(荒川雅妃、己々実 記)



のび〜るチーズドッグ
(ナンマンホットドッグ)

ラピッド市に市民訪問を派遣！

市民訪問団3名が10月1日(月)～7日(日)までの7日間のスケジュールでラピッド市を訪問しました。

わたなべ りく

参加者の一人、渡邊 莉久さんから感想文をいただきましたのでご紹介します。



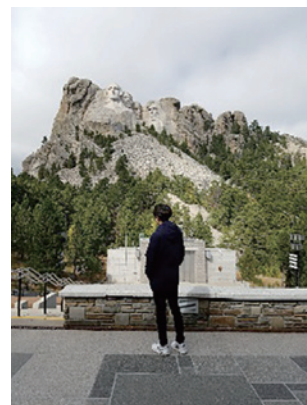
今回、ラピッドシティ市民訪問団に参加させて頂きました。現在大学3年生で外国語を学んでいます。また、私は平成26年にラピッドシティでホームステイをしました。前は、高校2年生で英語も未熟な所があり、深くコミュニケーションを取ることができませんでした。今回参加した理由は、前回のホストファミリーと会うこと。また、前回訪れた時に比べ市がどれほど変わったか。そして、英語でのコミュニケーションをどれほど取れるようになったかを確認したかったからです。

アメリカへの移動は、13時間以上かかり疲労感もありましたが、ホストファミリーの方々が体調を気遣ってくれ、改めてラピッドシティの方々は良い方ばかりだと感じました。ホストファミリーの家に移動中、車窓を見ながら(またラピッドシティに来れたんだ)という嬉しい気持ちが湧いてきました。私のホストファミリーは3人家族で、父親と息子は2018年7月に日光に来ており、日本の文化にもかなり理解があり、母親もとても良い方ですぐ馴染むことができました。

2日は市役所を訪れ、アラン・ハンクス市長とお会いし、その後「NIKKO STREET」を訪問しました。姉妹都市とはいえども、こんなに離れている国に、私達の住んでいる市の名前が付けられたことが感慨深く思いました。その後旧今市市から寄贈された桜の木を見学し、クレイジーホースを訪問。夜のウェルカムパーティーでは参加者と沢山の話をしました。3日はマウント・ラッシュモアを見学し、デッド・ウッドを周り「サルーン#10」で食事を取りました。ここでは、参加型の劇があり私も参加することになりました。非常に訛りが強い英語でしたが、なんとか聞き取り無事に終えることができ、英語が成長したと感じた場面でした。4日は、エア&スペースミュージアムへ行き、次にバットランド国立公園を車で周りましたが、この日は気温が0度前後と非常に寒く雨が降っていました。バットランドは中々雨が降らないと聞いたので、貴重な景色を見ることができ、ピンク等の色とりどりの地層が雨により浮き上がり、とても綺麗でした。この日の夜はラピッドシティの方々と食事を取り、今日が最終日だと思うと名残惜しい気持ちが溢れてきました。5日、空港でホストファミリーと再会することを約束した後、経由地であるミネアポリスで1泊し、6日に日本へ帰国しました。

前は英語を話す事が大変と感じましたが、今回は全くそのような事が無く、成長したと感じられました。ラピッド市内も新しい建物が建てられていて、開発も進んでいる事が分かりました。残念ながら前回のホストファミリーに会うことが出来ませんでした。更に英語を上達し会えるようにします。

今回の訪問で、改めてラピッドシティの方々の優しさ、明るさを感じる事ができました。そして、私達を受け入れて下さったホストファミリー、ラピッドシティの方々に心の底から感謝したいと思います。これからも日光市とラピッドシティの関係がずっと続くことを願いたいと思います。



英語で日光スポットガイド!

12月1日（土）に日光SGGクラブさんのご協力のもと、英語で日光スポットガイドを行いました。SGGクラブのボランティアさん4名と英語を勉強している国際交流協会会員14名が参加し、日光の観光スポットを英語で観光客に紹介しました。

実施日の前にスポットガイドの内容が英語で録音されたCDが参加者に送られ、各自で練習して来てくれました。当日は皆が集まり、SGGクラブのボランティアさんにご協力いただきながら、全体でも練習しました。皆とても頑張り、スムーズな英語で話せるようになりました。



このイベントはウォーキングツアーではなく、スポットガイドでしたので、参加者はグループに分かれ、日光の4つの有名な観光スポット（神橋、輪王寺、東照宮、二荒山神社）で外国人観光客を待ち、そのスポットの歴史や面白い点などを説明しました。



参加者はオーストラリア、インド、ロシアなどの国から来た多くの観光客と交流できました。観光スポットの話だけではなく、お互いの国の話や日本を訪れた理由などについても話し、とてもいい経験になりました。世界中にいろいろな国から来た人たちと会い、私たちの日光市について教えられたのは嬉しく思います。とても貴重な一日でした。皆さん、ありがとうございました!



後期事業報告

平成30年度後期に各部会が開催した事業について報告します。

ハロウィーンパーティ 10/27(土) @日光街道ニコニコ本陣

子どもたちが元気な声で「トリック オア トリート」と言いながらお菓子をもらったり、ピニャータというお菓子が詰まったボールを叩いてみんなで分けたり、21人の子どもたちが仮装コンテストを行うなど、笑い声が絶えない楽しいパーティーとなりました。



クリスマスパーティ 12/8(土) @豊岡公民館



色々なコスチュームを着た子どもたちと大人と一緒にケーキを作りました。国際交流員のアンナさんによるニュージーランドの話のあと、子ども達はクイズに答えて賞品をもらいました。また、参加者の星さんによるマジックがあり、皆驚き、笑いながら楽しんでいました。参加者のプレゼント交換、サンタクロースからのプレゼンがありました。

ドイツ料理 1/19(土) @サクシード日光

参加者は、ウィーン出身のフロンティーネさんと一緒に「偽物のウサギ」と呼ばれるドイツ料理「ゆで卵入りミートローフ」を作りました。これに沿えるソースは、すりおろした人参と玉ねぎを炒め、そこにクリームをいれた本格的なものでした。またデザートとして「イチゴピューレ」も作り、これらを食べながらドイツやオーストリアの話を聞いたり、質問したりし、英語と日本語で会話を楽しみました。



日本語の教え方セミナー 2/11(月、祝日)@日光市役所会議室



定員を上回る21名の方が参加。日光の日本語教室で学んでいる2人のベトナム人も参加してくれました。講師の神山先生は日本語の教え方では定評があり、日本の各地に加え中国でも教えており、そんな経験豊富な先生に、日本語をこれから教えたい人を対象とした講義をやって頂きました。「あいうえお」の発音の違いはどこが違うかの質問から始まったのですが、普段我々が意識していないところでしたので、最初から、皆、考え込んでいました。「てにおは」などの助詞の使い方の説明も受け、普段何気なく使っている日本語ですが、新しい言語に接しているような経験をしました。また、ベトナムの方の話で、大きくなったら子どもは親に仕送りをするのが一般的であるという話も聞くこともでき、とても有意義な時間を持つことができました。

日光市国際交流協会について About Us

私たちは、国際交流、国際理解の向上を目指し、様々な活動をしています。姉妹都市交流をはじめ、海外の文化、外国の方との交流、異文化体験をしてみませんか？日光市の特性を生かした市民レベルの交流活動を行います。年配の方からお子様まで、楽しんで学べるイベント、講座などを計画しています。ぜひ、お気軽にお越しください。

会費について Admission Fee

個人会員： 3000円

家族会員： 5000円

法人会員： 10000円

※個人会員で満18歳になる年度までは年会費は無料です。会員の資格は毎年4月に自動更新されます。

退会ご希望の方は翌年7月までにお申し出ください。

協会会員データ Number of Members

個人会員： 212人

家族会員： 14家族

法人会員： 50法人

※H31年3月現在

日光市在住外国人数

900人（ベトナム 184人、フィリピン 155人、中国 153人、韓国 66人…）※H31年3月現在

ボランティア登録について

当協会では下記のようなボランティアを募集しています。詳しい情報や登録を希望される方はお問い合わせください。

●ホストファミリー

海外からの短期訪問者を家族の一員として受け入れてくださるご家族を募集しています。

●日本語教師ボランティア

在住外国人向けの日本語教室にて、日本語を教えていただけるボランティアを募集しています。資格・経験は問いません。学習者に日本語を教えてみませんか？見学もできます。（原則第1、3、4木曜日）

●国際理解推進員講師募集

当協会では日本人、外国人を問わず、国際理解や異文化教育（言語、文化、歴史、舞踊、料理、物づくりetc）に関わる講師を募集しています。

●翻訳・通訳ボランティア

当協会と日光市が発行する資料などの各種言語への翻訳や海外からの訪問者の通訳などにご協力いただける方を随時募集しています。特に、資格等は問いません。

詳しくはHPで!!



今後のNCIA イベントスケジュール

5月9日（木）

平成31年度総会

7月14日（日）～22日（月）

ラピッド市中高生受入

7月22日（月）～8月2日（金）

日光市中高生ラピッド市派遣

詳しくは改めてご連絡いたします。ぜひお見逃しなく★

事務局
連絡先

日光市国際交流協会事務局（日光市観光経済部観光課内）

〒321-1292 日光市今市本町1番地

TEL:0288-21-5196 FAX:0288-21-5121



Email: kankou@city.nikko.lg.jp ホームページ: <http://www.nikkocity.org/>

Facebookページもあります！

日光市国際交流協会 Facebook で検索！